



Sekisyo 通信



R6・11・5
NO. 20
文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

☆☆☆ みんなの笑顔あふれる 明るく楽しい 石川小学校 ☆☆☆

第1部 「10周年おめでとうの会」

(前略) 10年前、平成27年4月に石川町内の6つの小学校が統合しました。当初この新しい校舎でスタートするはずでしたが、校舎の完成が若干遅れて、今のモトガッコ、旧石川小学校で入学式を行いました。その後9月の25日に、この校舎が完成して、夏休み、そして9月に入ってから当時の児童や先生方がここに引っ越しをして新生石川小学校がスタートしました。あれから10年が経って…(中略) これからもこの石川小学校は永遠に続くと思います。みなさんが卒業した後も、更に石川町の子ども達がこの学校で学ぶこととなります。皆さんの今後の活躍を期待します。

令和4年には沢田小学校が統合しました。この中にはその当時「不安だな」と、思いながら石川小学校に統合した児童もいるかと思っています。来年は野木沢小学校の統合が決まっています。今まで通り石川小学校の皆さんが快く受け入れ、ますます発展してほしいなと思っています。(後略)

教育長 小玉陽彦様からのお祝いの言葉のあと、創立当時の校長 矢吹伸一様より、創立10周年の記念講話をいただきました。

あたたかい口調、簡単なクイズも盛り込まれたユーモアあふれる講話は、会場からは時折笑い声も起こる和やかな雰囲気、子ども達の心を驚掴みにして放しませんでした。内容は当時のエピソードだけでなく当時の校長先生や先生方がどんなことを願って新しい学校を創ってきたかについてのもの、子ども達と一緒に、我々スタッフもしっかりと思いを受け止めることが出来ました。私もこれまでの学校経営をふり返る貴重な機会となりました。

また、既にリタイヤした矢吹様の楽しみの一つが、「毎日石川小学校の子ども達の姿を新聞やニュースなどを通して見守ること。」と、うかがい、ありがたさと共に身の引き締まる思いがしました。

スローガンやキャラクターの発表もあり、石小10才の誕生会にふさわしいお祝いの会となりました。ちなみに、キャラクター「サクリン」を考えてくれたのは、5年生の岡部 暖さんです。代表委員が応募者の中から候補作品を4点にしぼり、投票によって決定したものですので、全校生が選び公認したものとなります。「みんなの笑顔あふれる、明るく楽しい石川小」のイメージキャラクターとして、5年、10年と愛され続ける「ゆるキャラ!？」の誕生です。

第2部 「親子ワンダフルコンサート」♪

保護者の皆様へのあいさつもほどほどにスタートした「親子ワンダフルコンサート」ですが、子ども達のためのラインナップでしたので、終始ワクワクが止まらないコンサートとなりました。アンコール曲「ヤングマン」では、先生方のステージへの飛び入りもあり、大声で歌う子だけでなく、踊り出す子も大勢現れ熱気あふれる楽しいコンサートとなりました。半世紀近く前の曲でしたが、昔ヤングマンの血がさわぎ!?! ついつい体が…。

(裏面へと続く)



第3部 「いしかわ小フレンドパーク」

お待ちかねのフレンドパークは、縦割り班で集まりアイデアを出し合い、準備を進めてきましたので、この日のメインイベントです。客の入り芳しくないと思えるや急遽「呼びこみ隊」や「サンドイッチマン」も結成され、活気あふれる時間となりました。小さい子と手をつなぎながら各ブースを回る高学年の子、ルールを分かりやすく丁寧に説明する子の姿がとても印象的でした。帰り際、子ども達に感想を尋ねると。



準備や係の仕事がおもしろかった。またやりたいです。

との声も聞かれました。また、答えてくれた全ての子ども達は「楽しかった」と口をそろえます。

会場の関係で、1・3部は保護者の皆様の直接の参加は見送り、オンライン配信としましたが、既に600回近い閲覧があり、感心の高さを感じます。（7日まで配信しております。）

さて、今回の10周年イベントですが、目的は十分果たせたのではないかと思います。内容が盛りだくさんで、全体的に急ぎ足になってしまった点、反省とします。大々的に創立11年イお祝いすることはおそらくありませんが、今回の取り組みの成果を残し、多少形を変え継続できたらと思います。今後スタッフで考察を加え、保護者の皆様の意見や感想を参考にしながら検討していきますので、連絡帳等でお知らせいただけましたら幸いです。

☆☆ いよいよ号砲！校内マラソン大会（大会に込める思い！）

校内マラソン大会がいよいよ明日に迫りました。

おそらく、児童不人気NO1の行事かもしれないマラソン大会。つらい、苦しいマラソン、県内ではコロナ禍より実施を見送っている学校もあると聞きます。そんな中、石小では「校内マラソン大会」という体育的行事を子ども達の成長には欠かせない大切なものにとらえ、継続して実施してきました。

石小では、マラソン大会の目的を「自己の目標記録に向けて粘り強く練習したり、大会に参加したりすることを通して、心身共にたくましい児童の育成を図る」とし、10月から体育の時間や業間、朝の時間に少しずつ練習を重ねてきました。目的はあくまで自己の目標に向けて…。ですから、友だちと競うことや順番を争うことが目的ではありません。しかし、練習を重ねる中で、当然「〇〇くんには、負けたくない。」とか「〇〇さんのように、走りたい。」という心情も芽生えます。また、一緒に練習を重ねる中で、連帯感も生まれ、友だちと関わる中で、他者を意識し更に自分を高めようと努力する姿も見られます。しかし、同時に練習で思うように走れず、意欲が持てない子ども達の姿も見られます。ですから、我々スタッフは、あの手この手で子ども達に寄り添います。小まめにタイムを計測し、伸びを褒め、時には一緒に走りながら激励し、目標にできるだけ近づけさせることで自信を持たせます。

子どもたちには計り知れない可能性があります。しかし、我々は、その能力を引き出す手助けはできても、代わりに走ることはできません。マラソンを通して、「あきらめない心、我慢する気持ち、粘り強く最後まで取り組む体力、自分に負けない信念」そんな姿が少しでも形となったなら、本校の目指す「たくましい子ども」に更に近づくものと考えています。

体調を崩すことなく、全員が練習の成果を発揮する大会となることを祈ります。ご家庭でも励ましの言葉を引き続きお願いします。

